

市民公益活動事業補助金
(チャレンジ補助金)

平成31年度選考会



平成31年5月26日

平成31年度 狛江市市民公益活動事業補助金 応募団体(全7団体)

頁	分類	団体名	事業名	事業内容	申請額
1	チャレンジ 継続	狛江市将棋愛好会	第四次狛江市市民普及振興将棋大会	①歴史ある日本の文化の将棋を狛江市民に普及振興のため「第四次将棋大会」を開催したい ②将棋大会の参加者「老若男女」の交流親睦を図る ③将棋は記憶力、計算力などを高める	200,000
2	チャレンジ 新規	こまえアレルギーマの会	食物アレルギーの理解促進の場づくり	一般に食物アレルギー疾患者の食生活の質は低い傾向にある。これは一般食品において、食物アレルギー対応商品がまだまだ流通が少ないためである。さらに、外食においてはもっと厳しい状況にある。そこで、当会は食物アレルギー対応食品の普及を共催、共感を醸成し食生活の質の向上へ貢献することを目的とする。また、食物アレルギー対応食品を製造販売する企業との協働を行う。背景として食物アレルギー対応商品は、比較的高価であり、流通が少なければ淘汰されてしまう。食物アレルギー対応食品を当会の事業で紹介し、一般の方々にも商品を知ってもらう機会を設けて販売促進に貢献する。具体的には、事業結果の報告書や動画を制作し情報開示を行い、商品の価格や持続性に貢献して行く。	200,000
3	チャレンジ 新規	あおぞら自主保育 狛江おひさまの会	乳幼児期の外遊び推進のための勉強会とフィールドワーク	就学前に外遊びをすることは子どもの発達に重要ですが、しかし、保護者の外遊び経験が少ないこと、外遊びに関する情報が少ないことが外遊びのハードルとなっています。本事業では、外遊びの重要性に関する啓発、狛江市内の外遊びに関する情報共有、外遊び体験の場を提供します。また、参加者同士が交流する場をつくり、日常的な繋がりがつくりもめざします。	100,000
4	チャレンジ 新規	子育ての輪	赤ちゃん広場 ～あかちゃんわ～	本会は0歳の保護者の居場所づくりを中心とし、地域子育て支援拠点事業を行う。子育てを始めればかりの保護者の不安や孤独感を解消し、生き生きと子育て、自分らしい子育てができる環境をつくる。地域で子どもを育て、成長を見守る環境をつくる。「子どもと過ごすことが心地よい」と感じる保護者を増やし、子育てがしやすい環境をつくる。	50,000
5	チャレンジ 新規	comecolor	狛江駅前広場でのマルシェ開催プロジェクト	狛江のシンボルとなるような可能性を持つ「狛江駅前マルシェ」を開催。下記の内容を組み合わせていくことで、狛江市民には新たな魅力を感じてもらおうほか、狛江市外へもPRし狛江市の魅力を訴求していくこととする。一助となることを目的とします。 ①狛江市内の様々な事業者出店や農産物の販売 ②住民交流愛好都市の小菅村の特産物販売 ③狛江市以外の特色あるコンテナ	200,000
6	チャレンジ 新規	狛江CSA実行委員会	狛江CSA	狛江市民の育てたホップを使ってピエールを作る取り組み。市民参加型の新しい都市農業。ホップを育成することでコミュニティを造成し、出来上がったピエールで市内の飲食振興を。また、グリーンカーテンによる温暖化の抑制効果も。	200,000
7	チャレンジ 継続	狛江視覚障害者の会	ハンディチェイれんじクラブ	障がい者が持つ様々な障がいを経験し理解を深めることにより、全ての人が支え合い、共に暮らせる社会の実現を目指します。 ①2017年スタートしたこの街で障がい者と共に暮らすために、「プロジェクト3」が年計画の集大成として取り組みます。 ②市民公益活動事業補助金のご支援を受けて、2年間の活動で培った事業ノウハウを活かし、今後の安定的な開催と自立できる運営体制を確立します。	200,000

チャレンジ補助金

狛江市将棋愛好会

平成31年4月25日

狛江市長 松原俊雄 様

団体名 狛江市将棋愛好会

代表者名 深井秀造

市民公益活動事業補助金 (チャレンジ補助金) 申請書 (平成31年度)

事業名称	第4回狛江市民普及振興将棋大会					
実施時期 (予定)	令和1年8月4日 9:00~17:00					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	① 歴史ある日本の文化の将棋を狛江市民に普及振興の意「第4回将棋大会開催」を以てい。 ② 将棋大会の参加者「老若男女」の交流親睦を計る ③ 将棋は記憶力、計算力、10 ²²⁰ の手の変化の対応力を高める。					

申込団体概要

団体名	狛江市将棋愛好会					
代表者名	深井秀造					
所在地 (事務所等)	[Redacted]					
連絡担当者	[Redacted]					
会員数	93人 (うち市内66人)	会費等	無・有 ()	金額・月	大人 4000 円	小人 2000
主な活動地域	✓ 狛江市内	直近事業年度決算額(支出総額)	30年度	388,217	円	
主な活動実績	毎週日曜日13時~17時 中央公民館で定期対局会 年3回の将棋大会 高齢者施設への将棋相手(月曜日~水曜日午後)					



<平成31年度>

* 事業計画

* 収支計画

狛江市将棋愛好会

平成30年12月作成

狛江市地域活性課様へ

- ◎ 第四回狛江市民将棋大会(普及振興大会)
 - ◎ 日時 令和1年8月4日(日曜日)午前9時～午後5時
受け付け 午前9時30分～午前10時
 - ◎ 開催場所 狛江市中央公民館第四会議室
 - ◎ 将棋大会の内容(将棋の棋力は参加者の申告別)
 - Aクラス 初段以上
 - Bクラス 1級～5級
 - Cクラス 6級～10級
 - Dクラス11級以上
- 以上の四クラス別の将棋大会のトーナメント大会
各クラス優勝～3位、復活戦1位に賞品贈呈、
参加賞 参加者全員、
- ◎ 将棋大会参加費 高校生以上 1000円、
女性、小、中学生 500円
 - ◎ 主催 狛江市将棋愛好会
共催 狛江市
「 「 教育委員会
 - ◎ 以上の内容で将棋大会を開催予定しております！
「狛江市民活動、生活情報誌に掲載お願いいたします。
 - ◎ 平成31年4月17日 狛江市将棋愛好会一同

事業計画書(1-1)

1 事業名称	狛江市民将棋大会
<p>2 事業の目的(事業を実施する前提となった問題点, 社会背景, 期待される効果等を交え, 具体的に記入してください。)</p> <p>平安貴族も戦国武将も指した将棋という日本の伝統文化を今回のイベントで狛江市民に知ってもらいきっかけにしたい。将棋は青少年の知能を練磨し思考力、集中力、判断力、決断力を高めます。中年層には対局を通して新しい世代を超えた仲間との交流が得られます。さらに年配者(高齢者)には老後の楽しみとアンチエイジングをもたらします。特に今回のイベントは少年少女時代の貴重な時間を有効に使い自分で考えられる子供、豊かな情操と人間性を育む機会(場)を地域社会が提供する。</p>	
3 事業の内容	
<p>① 実施場所</p> <p>中央公民館第四会議室(予約申請中)</p>	
<p>② 対象者</p> <p>全狛江市民</p>	
<p>③ 告知方法</p> <p>市の掲示板40か所にポスターを掲示(教育委員会の承認が必要)市内各施設にちらし配布、地域活性課を通じ「わっこ」に掲載、各少学校にちらし配布(各校の承認が必要)</p>	
<p>④ 具体的内容 事業実施体制</p> <p>当日は午前9時30分～午前10時まで参加者受付時間。</p> <p>午前10時～午後5時将棋大会。午後0時～午後0時40分昼食休憩</p> <p>大会運営は、当役員全員が役割分担して対応します。</p> <p>Aクラス(初段以上)、Bクラス(1級～5級)、Cクラス(6級～10級)各クラスは、トーナメント戦で勝敗を決める。Dクラスは(11級以上の参加者で自由に将棋対局してもらい試合数、勝ち数の一番の人表彰)合計各クラス4名とDクラス2名に賞品券</p> <p>Aクラス、Bクラス、Cクラスの1位～3位と敗者復活者1位を表彰します(参加者全員参加賞あり)合計14名</p> <p>トーナメントで2連敗した人は、役員と練習対局、簡単な詰め将棋(3手～7手詰め)</p> <p>詰め将棋の正解者には、賞品進呈します /</p>	

4 事業の自己PR

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとに解かりやすく記入してください)

	先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか
1	<p>狛江の将来を託す少年、少女とこれからの高齢化社会の高齢者を日本の貴重な文化である将棋の世界に「狛江市将棋大会」は必ず大きな役割をはたす。</p> <p>狛江憲章に「教養を高め文化がめばえ育つ町をつくります」とある。</p>
	市民のニーズや地域性に適合した特長のある事業であるかどうか。
2	<p>将棋の対局をするには極めて狭い場所があればよい。狛江は中央公民館に來訪し易いコンパクトな市で、市民は市内何処からも短時間で、来て日曜日の公民館で、将棋対局を身近に接することができる。老若男女が将棋対局を楽しんでいる光景に最近訪れる人がふえました。</p>
	事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。
3	<p>この事業は収支約26万円をみこみ、収入は参加者60名として参加者負担が5万円、主催者負担が1万円、補助金20万円と試算している。一方支出は大会の賞品や参加賞事前の宣伝費などで、将棋大会にはプロ棋士招待が普通ですが、当会の有段者が替わりをつとめています。</p>
	事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。
4	<p>将棋大会の宣伝の「効果で狛江市の少年、少女が自分で考える力、将棋対局は「礼に始まり礼で終わる」。礼儀作法や相手を尊敬する心(対局で負けました)と自ら言う勇気を持つ心。高齢者も将棋を楽しむ事により交流親睦が深まり精神の高揚が期待できる。</p>
	事業を行う団体が将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか
5	<p>狛江市将棋愛好会は狛江市民に広く入会を呼びかけている。入会費は無し。会費半年ごと大人2000円、子供1000円。日常の活動は、「毎週日曜日午後の将棋対局」会場費が主で、年3回の将棋大会費用以外は会費 ないで均衡させていくよていです。自力活動運営は充分可能!</p>

<平成31年度事業計画>

① 将棋大会

- * 4月7日 第三回 小、中学生、女性参加の将棋大会
(トーナメント戦。棋力のハンデあり)
- * 8月4日 第四回 狛江市民将棋大会
(四クラス棋力別トーナメント戦)
- * 12月8日 第4回全会員参加将棋大会
(棋力別4クラス別トーナメント1位4人の優勝戦)

② 会員交流イベント

- * ジュニア(小、中学生)とシニアの人の交流大会(案)

③ 役員会開催予定

- * 執行役員会(6名)開催予定日
2月17日、4月14日、7月14日、10月13日
(原則: 第二日曜日 PM3:00)
- * 定例全役員会(14名)開催予定日
3月17日、5月19日、8月18日、11月17日
(原則: 第三日曜日 PM3:00)
- * 臨時役員会: 適時適切に開催する。

④ 公民館事業

- * 狛江市当局及び中央公民館、西河原公民館主宰の
各種イベントへの参加予定

⑤ その他

- * 高齢者施設への将棋対局ボランティア活動
「こまえ苑、グランダ喜多見、なごやか狛江」
月曜日 火曜日水曜日午後1時～3時、5時頃、
以上

団 体 概 要 書

フリガナ	こまえししょうぎあいこうかい	
団 体 名	狛江市将棋愛好会	
フリガナ	ふかいひでぞう	
代表者名	深井 秀造	
所 在 地	住所	
	電話	
フリガナ		
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
設立年月日	平成26年6月5日	
設立目的	<p>本会は、構成する一般会員と狛江市民全般にたいし将棋の対局機会を企画提供する事を主たる事業とし、市民への将棋の普及につとめる。</p> <p>さらに、本会員全員の棋力向上と相互親睦を図り将棋の楽しさ、狛江市の文化向上の一翼として寄与したい。</p>	
主な活動内容、実績	<p>狛江市中央公民館の会議室で「毎週日曜日午後1時～午後5時」将棋対局会開催」。年3回の将棋大会」は、多くの参加者に将棋の楽しさ、厳しさなど、思考力、判断力、集中力の向上に寄与した。又将棋大会参加者から会の入会者の増加に貢献してくれました！</p>	
会員数 会 費	<p>93名(小、中学生36)「市内66名」 半年高校生以上2000円 小、中生1000円</p>	

8月4日の実施事業についての

補助金申請書の収支予算案

狛江市将棋愛好会

第四回狛江市民普及振興将棋大会

(単位円)

収入の部		支出の部	
内 容	金 額	内 容	金 額
チャレンジ補助金	200000	チラシ、ポスター費用 (市内小学校6、他)	30000
参加者(大人1000×40名 子供、女性500×20名)	50000	木製簡易将棋盤	45000
狛江市将棋愛好会 拠出金	10000	事務関係費(コピー代 事務用品)	10000
		将棋大会1位～3位 敗者1位など賞品券)	29000
		将棋大会1位～3位 / 表彰の楯9個)	50000
		優勝カップ代(レプリカ)	5000
		参加賞500×60名)	30000
		練習対局、詰め将棋 / 等の正解者の参加賞	5000
		写真代	3000
		予備費(年末の将棋 大会予備費)	(53000)
収入合計	260000	支出合計	260000

外費

平成31年度収支計画案

狛江市将棋愛好会

事業計画 平成31年1月1日～12月31日

収入の部		支出の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
前期繰越金	56,881	会場費	25,000
会費（一般）	220,000	事務用品費	50,000
（40×4000、30×2000）		通信費	20,000
会費（特別）	40,000	広告宣伝費	5,000
		慶弔費	12,000
		備品装備費	20,000
		大会費	135,000
		（①15000②70000③50000）	
		雑費	10,000
		次期繰越金	39,881
収入合計	316,881	支出合計	316,881

＜ 決算書類勘定科目別分析表 ＞

① 収入の部

* 会費収入	222,000
* 公益事業補助金収入	120,000
* 狛江市民将棋普及・振興大会収入	41,500
合 計	383,500

② 支出の部

* 事務用品費	51,594
* 会費払い戻し費（退会者）	1,000
* 会場費（定期対局会他）	23,800
* 租税公課（郵便料他）	14,250
* 大会関係費（表彰他）	165,463
* 備品装備費	87,887
* 慶弔関係費	34,120
* 広告宣伝費	6,303
* その他費用（駐車料他）	3,800
合 計	388,217

平成30年度決算

狛江市将棋愛好会

対局予定日

狛江市将棋愛好会
(平成31年2月22日)

年月日	対局場所		時間	備考
31年3月 3日	中央公民館	第一会議室	13,00~17.00	
31年3月 3日	同上	第三会議室	13,00~17.00	
31年3月 10日	中央公民館のつどい対局無し		13,00~17.00	
31年3月 17日	中央公民館	第一会議室	13,00~17.00	
31年3月 17日	同上	料理教室(地下)	同上	
31年3月 24日	同上	第一会議室	同上	
31年3月 24日	同上	第三会議室	同上	
31年3月 31日	同上	第一会議室	13,00~17.00	
31年3月 31日	同上	第三会議室	13,00~17.00	
31年4月 7日	同上	第四会議室	9,00~17,00	
31年4月 14日	中央公民館	休　　み		
31年4月 21日	同上	第一会議室	13,00~17,00	
31年4月 21日	中央公民館	第三会議室	13,00~17,00	
31年4月 28日	同上	第一会議室	同上	
31年4月 28日	同上	第三会議室	同上	
31年5月 5日	同上	休　　み		
31年5月 12日	同上	第一会議室	13,00~17,00	
31年5月 12日	同上	料理教室	同上	
31年5月 19日	同上	第一教室	同上	
31年5月 19日	同上	第三会議室	13,00~17,00	
31年5月 26日	同上	第一会議室	同上	
31年5月 26日	中央公民館	第三会議室	13,00~17,00	

◎ 3月10日「中央公民館つどいに将棋愛好会参加」第一会議室
午後1時～午後4時頃まで。見学にきてください！

◎ 4月7日「第三回女性、小、中学生の将棋大会開催します」
第四会議室で午後1時～午後4時30分予定。
別紙参照してください。

平成 30 年度 **狛江市市民公益事業補助金補助事業**

狛江市市民将棋普及振興大会

市民の皆様、みんなで仲良く将棋を楽しみましょう！

お子様から中高年までどなたでもご参加下さい。(大人 1,000 円、小中生&女性 500円)

指導対局、大盤使用の詰将棋、棋力別競技大会等将棋のイベントがあります。優秀者には賞状・賞品、参加賞もあります。

お気軽にご参加下さい。

平成 30 年 8 月 5 日 (日)

*競技大会の参加人数
は当日検討します。

中央公民館 **第四会議室**

受付 9 : 30 ~ 10 : 15 競技開始 10 : 30 ~

終局 16 : 00

主催**狛江市将棋愛好会**後援**狛江市 & 狛江市教育委員会**

こまえアレルギーの会

平成31年4月26日

狛江市長 松原 俊雄 様

団体名 こまえアレルギーの会

代表者名 早坂 織香

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（平成31年度）

事業名称	食物アレルギーの理解促進の場づくり				
実施時期（予定）	令和元年8月から令和2年3月				
交付要望額	2	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	<p>一般に食物アレルギー疾患者の食生活の質は低い傾向にある。これは、一般食品において、食物アレルギー対応商品がまだまだ流通が少ないためである。さらに、 外食においてはもっと厳しい状況にある。そこで、当会は食物アレルギー対応食の事業を行い、本来ある食の楽しさを共有、共感を醸成し食生活の質の向上へ貢献をすることを目的とする。また、食物アレルギー対応食を製造販売する企業との協働を行う。背景として食物アレルギー対応商品は、比較的高価であり、流通が少なければ淘汰されてしまう。食物アレルギー対応食を当会の事業で紹介し、一般の方々にも商品を知ってもらう機会を設けて販売促進に貢献する。具体的には、事業結果の報告書や動画を制作し情報開示を行い、商品の価格や持続性に貢献して行く。</p>				

申込団体概要

団体名	こまえアレルギーの会				
代表者名	早坂 織香				
所在地 （事務所等）	住所	[Redacted]			
	電話				
	FAX				
連絡担当者	氏名	[Redacted]			
	住所				
	e-Mail				
会員数	11 人（うち市内 10 人）	会費等	無・有○ （○年額・月額）	500 円	
主な活動地域	狛江市	直近事業年度決算額 （支出総額）平成30年度	4915 円		
主な活動実績	平成30年10月31日おしゃべり会 参加人数7人 平成31年2月4日 『アレルギーについておしゃべりしませんか』 こまえくぼ1234共催 参加人数8人 平成31年3月6日 中央公民館のつどい参加 午前特定原材料7品目不使用のパンケーキを作ろう 参加人数3人 午後アレルギー対応食の試食会と交流会 参加人数15人				受付 31.4.26 狛江市市民生活部 地域活性課

事業計画書

1. 事業名称 食物アレルギーの理解促進の場づくり

2. 事業の目的（事業を実施する前提）となった問題点、社会的背景、期待される効果などを交え具体的に記入）

一般に食物アレルギー患者の食生活の質は低い傾向にある。これは、一般食品において、食物アレルギー対応商品がまだまだ流通が少ないためである。さらに、外食においてはもっと厳しい状況にある。そこで、当会は食物アレルギー対応食の事業を行い、本来ある食の楽しさを共有、共感を醸成し食生活の質の向上へ貢献をすることを目的とする。また、食物アレルギー対応食を製造販売する企業との協働を行う。背景として食物アレルギー対応商品は、比較的高価であり、流通が少なければ淘汰されてしまう。食物アレルギー対応食を当会の事業で紹介し、一般の方々にも商品を知ってもらう機会を設けて販売促進に貢献する。具体的には、事業結果の報告書や動画を制作し情報開示を行い、商品の価格や持続性に貢献して行く。

3. 事業の内容

- ① 実施場所 狛江市内公共施設 料理室 予定
- ② 対象者 狛江市内アレルギー疾患当事者と関心ある狛江市在住・在勤者
- ③ 告知方法 こまえくぼ 1 2 3 4 HP SNS チラシ わっこなど
- ④ 具体的内容/事業実施体制

食物アレルギー対応食材を用いて、作る楽しさ・食べる喜びを体感できる事業を開催する

1. そうめんを作ろう

特定原材料7品目と特定原材料に準ずるもの20品目不使用のそうめんを回転式製麺機を用い製作し試食する

協力企業候補：みたけ食品工業株式会社（ノングルテンの米粉の無償提供）

2. カレーライスを作ろう

災害時避難所の炊き出しを想定した、おいしさを追求した特定原材料7品目不使用のカレーと、炊飯袋でご飯を炊きカレーライスを試食する

また、災害時対応食の27品目不使用のクッキーを試食する

協力企業候補：尾西食品株式会社（特定原材料27品目不使用の5年保存できるライスクッキーを無償提供）

3. パンケーキを作ろう

中央公民館のつどいに参加予定

特定原材料7品目不使用のパンケーキミックスを用い、パンケーキを焼き試食する

協力企業候補：みたけ食品工業株式会社（特定原材料7品目不使用の大豆粉と米粉のパンケーキミックスを無償提供）

4.事業実施スケジュール

8月4日(日) 予定 そうめんを作ろう

11月10日(日) 予定 カレーライスを作ろう

3月上旬(日) 予定 パンケーキを作ろう

5. 事業の自己PR(実施事業について、どういう点で優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入)

1) 先駆的であり、将来性のある事業であるか

一般に食物アレルギー対応食はまずいイメージがある。

食物アレルギー患者の食生活は、食の楽しみが実現していない。

他者との交流や時間・場所の共有が厳しく孤立してしまいがちである。

特に、広域災害時の避難所等では、情報不足により対応は皆無に近い背景がある。

以上の課題の解決のための取り組みとして、手作りの楽しさや、食のおいしさの追求を試みることで、食生活の質を上げる効果を狙う。

さらに、企業との協働を行うことで、食物アレルギー患者当事者以外の方にも幅広く伝えられることができ、食物アレルギーについての理解と促進が実現できる。

2) 市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか

各家庭における自助としての日常食の楽しむ場の提供がなかった。さらに、各地域の避難所運営において、食物アレルギー対応の備蓄及び炊き出しについてはニーズがあったもののどのように対応すべきなのか確かな情報を得られていない状況であった。これらの課題に対して、こまめアレルギーの会から、当事者目線の情報提供を行い場の提供をすることで安心して食物アレルギー患者が楽しめる企画を実行して行く。

3) 事業計画及び収支予算に実現性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか

アレルギー対応の商品を製造販売する企業に協力してもらうことで経費削減が可能である。

マンパワーとしてのアレルギー疾患当事者でもある超党派の粕江市市議会議員の参加が3名見込まれている。

4) 事業の実施により相当の効果が期待できるか

参加者、協力企業へのフィードバックとして、報告書、動画レポートを提出、情報発信をすることで、協力企業からの支援の増加、当会会員の増加が期待できる。

5) 事業を行う団体が、将来的に自立して活動できる可能性が期待できるかどうか

会員の増加による会費の増益、協力企業の賛助会員化増加が期待でき活動費として充てられる。粕江地域のほかコミュニティとのコラボイベントに参加することでの収益が見込まれ活動費として充てられる。

【任意様式】

平成31年度狛江市市民公益活動事業補助金

＜申請事業収支予算書＞

団体名	こまえアレルギーの会
事業名	食物アレルギーの理解促進の場づくり

＜収入の部＞

項目	金額	内容
市民公益活動事業補助金	200,000 円	
参加費1 そうめん	12,800 円	大人16人 (@500円) / 子供16人 (@300円) / (中学生まで) 1回8組1日2回開催
参加費2 カレー	10,400 円	大人8人 (@800円) / 子供8人 (@500円) /
参加費3 パンケーキ	12,800 円	大人16人 (@500円) / 子供16人 (@300円) 1回8組1日2回開催 /
合計	236,000 円	

＜支出の部＞

項目	金額	内容
会場費	3,000 円	
消耗品費	4,340 円	回転式製麺機 4個 (@1085円)
原材料費 そうめん	6,000 円	片栗粉、鰹節、うま味調味料、醤油、ねぎ、わさび、生姜、水
原材料費 チキンカレー	10,000 円	カレールー、じゃがいも、にんじん、玉ねぎ、鶏肉、米、炊飯袋
原材料費 パンケーキ	6,000 円	豆乳、メイプルシロップ、チョコシロップ レモン果汁 フルーツ
備品	9,000 円	ホットプレート
印刷費	50,000 円	
講師代	60,000 円	3回 (@20000円)
外部講師・アルバイト交通費	9,000 円	3人 (@1000円) ×3
記録・動画製作費	60,000 円	
外部調理補助 (アルバイト代)	15,000 円	のべ5人 (@1000円 (時給)) ×3H
雑費	3,660 円	
合計	236,000 円	

平成31年度 収支予算書

自.平成31年4月1日 至.平成32年03月31日

こまえアレルギーの会

収入の部

(単位:円)

科目	摘要	本年度予算
前年度繰越し金		0
会費		
年会費	1人500円×11人	5,500
補助金・助成金		
補助金	狛江市市民公益活動事業補助金	200,000
助成金		0
事業収益		
事業受託収益		0
事業収益	事業参加費	36,000
販売収益	販売収益	12,000
受取利息	受取利息	0
雑収入	雑収入	0
寄付金	寄付金	0
当年度収入合計		253,500

支出の部

科目	摘要	本年度予算
雑費	雑費	500
事業費	事業費	236,000
会場費	会場費	0
管理費		
役員手当		0
賃借料		0
印刷費	リーフレット チラシ代 インク代	0
郵送費		0
通信費		0
消耗品	文房具 用紙	2,000
旅費・交通費	外部講師交通費 月1回(1000円)×9回	9,000
水道光熱費		0
施設管理費		0
会議費		0
委託費		0
講師謝金		0
アルバイト代		0
慶弔/交際費		0
研修費		0
販売原価		6,000
保険料		0
寄付金	寄付金	0
助成金	助成金	0
負担金	負担金	0
積立金	積立金	0
当年度支出合計		253,500

あおぞら自主保育 狛江おひさまの会

令和元年 5月7日

狛江市長 松原 俊雄 様


団体名 あおぞら自主保育 狛江おひさまの会

代表者名 北澤 智子

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（平成31年度）

事業名称	乳幼児期の外遊び推進のための勉強会とフィールドワーク					
実施時期（予定）	令和元年 7月1日					
交付要望額	1	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	<p>就学前に外遊びをすることは子どもの発達に重要です。しかし、保護者の外遊び経験が少ないこと、外遊びに関する情報が少ないことが外遊びのハードルとなっています。</p> <p>本事業では、外遊びの重要性に関する啓発、狛江市内の外遊びに関する情報共有、外遊び体験の場を提供します。また、参加者同士が交流する場をつくり、日常的な繋がりづくりもめざします。</p>					

申込団体概要

団体名	あおぞら自主保育 狛江おひさまの会					
代表者名	北澤 智子					
所在地 （事務所等）	住所	[Redacted]				
	電話					
	FAX					
連絡担当者	氏名	[Redacted]				
	住所					
	e-Mail					
会員数	22名（うち市内10名）	会費等	有（月額）	500 円		
主な活動地域	多摩川河川敷	直近事業年度決算額 （支出総額）平成30年度	515,597 円			
主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成21年設立、任意団体 ● 未就学児の自主保育を通年で実施 ● 平成25年より、毎年、乳幼児親子を対象とした多摩川自然遊び体験会や多摩川冒険歩きを開催。6回開催し、延べ300人が参加 ● 年12回、河川敷で乳幼児親子の外遊び体験を開催（30年度実績） 					受付印
						

乳幼児期の外遊び推進のための勉強会とフィールドワーク

事業計画書

■実施概要

<p>事業名称</p>	<p>乳幼児期の外遊び推進のための勉強会とフィールドワーク</p>
<p>事業の背景と課題意識</p>	<p>就学前に外遊びをすることは、子どもの発達に重要です。しかし、保護者の外遊び経験が少ないこと、外遊びに関する情報が少ないことが、外遊びのハードルとなっています。</p> <p>当団体は、平成 21 年より 10 年間、狛江の身近な自然のなかで子育てをしたい親たちが集まり、多摩川河川敷を拠点として自主保育を行ってきました。その経験から、平成 25 年以降、広く市民を対象として多摩川の自然体験プログラムも実施してきました。しかし、外遊びをさせたいという強い関心を持つ保護者だけが参加をしているという課題意識があります。</p> <p>よって、本事業では、<u>外遊びの専門家を招いて、市民に分かりやすく外遊びの効果を伝えるとともに、外遊びを実際に親子で体験するフィールドワークを実施し、外遊びのハードルを下げる機会をつくります。</u></p>
<p>事業の内容</p>	<p>本事業では、外遊びの重要性に関する勉強会を行います。講師は、<u>全国各地で外遊びに関する講演会を行う天野秀昭氏</u>、3人の娘を狛江で育てる母であり、市内の外遊びを推奨する環境を提供している<u>“狛江プレーパーク”運営団体の岡本千栄子理事長</u>を迎えます。また、狛江市内の<u>外遊びに関する情報共有、外遊び体験の場として狛江プレーパークでフィールドワーク</u>を行い、参加者同士が交流する場をつくり、仲間づくりに繋がります。</p>

	<p>○勉強会 「乳幼児の外遊びのススメ」(仮案) 10時～11時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天野秀昭氏 NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会 評議員 NPO 法人プレーパークせたがや 理事 ・岡本千栄子氏 NPO 法人こどもの遊びと育ちを支える会・狛江 理事長 <p>・場所：西河原公民館</p> <p>○フィールドワーク 11時15分～12時 「子どもといっしょに外遊び体験をしてみよう」(仮案) 天野氏と岡本氏も同行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：狛江プレーパーク <p>*勉強会とフィールドワークは同日開催 *勉強会は託児を準備し、参加しやすい環境を整備 *多くの市民が参加しやすいように無料で実施 *参加人数の見込み 50名</p>	
開催場所	西河原公民館	
対象者	狛江市内の乳幼児親子 及び 子育てに関心がある方	
告知方法	ポスター、チラシ、団体 SNS	
実地 スケジュール	4月	企画会議
	5月	狛江市市民公益活動事業補助金申請
	6月上旬	講師との打ち合わせ 連携団体との打ち合わせ チラシ作成 告知
	7月上旬	勉強会とフィールドワークの開催
	7月中旬	報告書作成
	8月上旬	報告書提出
	9月以降	自主事業として、以下の事業を予定。 ・乳幼児親子の外遊び体験 ・多摩川自然遊び体験会や多摩川冒険歩き

■事業の自己PR

1、先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。

狛江市の若い家族世帯の増加により乳幼児親子の居場所への関心が高まっています。本事業では、狛江市内にある乳幼児親子の野外の居場所、外遊びの大切さを専門家の視点から紹介します。

子どもたちの体験活動の不足が指摘されるいま、本事業をきっかけとして、外遊びのハードルが下がることや、子育て世代の繋がりづくりを目指します。

2、市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか

平成 27 年 3 月に発表された「こまえ子育て応援プラン」で、子連れでもでかけやすい場所を増やしてほしいという要望は、57.4%と最も高い数字になっています。狛江市は緑が多く、多摩川や野川など自然が多い地域です。地域性を生かし、子どもとどう外遊びをしたらよいか模索している家族へ情報提供を行います。

加えて、「こまえ子育て応援プラン」で日常的に乳幼児を預かってもらえる人がいないと答える人たちが、21%にもものぼると報告されています。フィールドワークを通し、地域や子育て世代の交流ができることを目的とします。

3、事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか

平成 21 年からの実績と、自主事業を基盤として、本事業は行っています。特に、今回の補助金は「勉強会とフィールドワーク」に限定し、日常の自主事業は自律的な運営を継続します。

4、事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか

乳幼児を持つ家庭は親子の居場所の情報を求めています。今回の参加募集は、チラシ・インターネット・SNS などを利用して、多くの市民に参加を呼び掛ける工夫をします。事業告知だけを目にする方へも狛江での外遊び及び居場所の普及ができるよう努めます。

5、事業を行う団体が将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか

世代を問わず広く市民の賛同者を募り、外遊びを求める乳幼児親子の居場所の発展を推進します。今後も乳幼児親子へむけた狛江市内の外遊びに適した場、情報を紹介する一団体として活動を行います。

【任意様式】

令和元年度 狛江市市民公益活動事業補助金

<申請事業収支予算書>

団体名	あおぞら自主保育 狛江おひさまの会
事業名	乳幼児期の外遊び推進のための勉強会と フィールドワーク

<収入の部>

項目	金額	内容
市民公益活動事業補助金	100,000 円	
自己資金より	5,000 円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	105,000 円	

<支出の部>

項目	金額	内容
講師謝礼	50,000 円	講演費 25000円×2時間 上記はNPO法人プレーパーク世田谷 講師謝礼規定に準ずる
講師謝礼	20,000 円	講演費 10000円×2時間 上記はNPO法人こどもの遊びと育ちを支える会・狛江 講師謝礼規定に準ずる
託児保育料(外部の方への謝礼)	21,000 円	託児保育 3000円×7人
事業保険	5,000 円	行事保険
印刷代	8,000 円	ポスター、ちらし、資料代として
会場使用料	1,000 円	
	円	
	円	
合計	105,000 円	

令和元年度 あおぞら自主保育狛江おひさまの会 収支予算書

【収入】

項目	金額 (円)	積算内訳
会費合計	384,000	預け合い会費5000円/月、預け合い前500円/月
狛江市自主保育支援補助金	80,000	
合計	464,000	

【支出】

項目	見積額 (円)	積算内訳
託児保育料	75,000	ミーティング時の託児料として
会場費	10,000	ミーティング、イベント、荒天時の室内保育
野外保育料	240,000	
卒会式関連費	75,000	記念品、文集製作費等
イベント雑費	20,000	芋ほり遠足、豆まき、ハロウィンなど
合宿関連費	7,000	合宿 (年2回実施) 会場下見交通費等
進級式関連費	3,000	記念品製作費
パンフレット・ポスター印刷代	15,000	
誕生日会記念品	4,000	記念品製作費
関連団体 (プレパーク・NPO法人あるきんぐクラブ・しんぼれん) 年会費	10,000	
雑費	5,000	工作材料購入費等
合計	464,000	

子育ての輪

2019年 5月 7日

狛江市長 _____ 様


団体名 _____ 子育ての輪 _____

代表者名 _____ 花岡藍子 _____

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（31年度）

事業名称	赤ちゃん広場 ～あかちゃんのわ～				
実施時期（予定）	2019年6月～2020年3月				
交付要望額	5	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	<p>本会は0歳の保護者の居場所づくりを中心とし、地域子育て支援拠点事業を行う。</p> <p>子育てを始めたばかりの保護者の不安や孤独感を解消し、生き生きと子育て、自分らしい子育てができる環境をつくる。地域で子どもを育て、成長を見守る環境をつくる。</p> <p>『子どもと過ごすことが心地よい』と感じる保護者を増やし、子育てがしやすい環境をつくる。</p>				

申込団体概要

団体名	子育ての輪				
代表者名	花岡藍子				
所在地 （事務所等）	住所	[Redacted]			
	電話	[Redacted]			
	FAX	[Redacted]			
連絡担当者	氏名	同上		電話	(自宅) (携帯) 同上
	住所	(〒 -) 同上			
	e-Mail	同上			
会員数	9 人（うち市内 9 人）	会費等	<input checked="" type="checkbox"/> 有（年額・月額）		円
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 （支出総額）2018年度	52,380 円	
	狛江市の後援を頂き、2017年度に社会を多摩里で開催。2018年度はイベントを絡めて2回、市民活動支援センターこまえくぼで開催し、同時に運営メンバーの募集も行った。両日30組の親子の利用があり、イベント後ものんびり会話を楽しみ、ゆったり過ごされている様子うかがえた。運営メンバーも6名増え、団体として発展性のある年度となった。				受付印 

事業計画書(1-1)

1 事業名称	赤ちゃん広場 ～ あかちゃんのわ ～
2 事業の目的	<p>産後2ヶ月～12か月頃までで特に初産の保護者は、子育てに不安な中、近くに親戚など頼るところもなく育児を始めている方が多い。また、『夫が仕事で帰宅が遅い』『出張で不在が多い』などの場合、何日も赤ちゃんと二人きりで過ごし、『大人と会話する』ということが減り、孤独になり社会からも切り離されたような感覚になる。</p> <p>子ども自身が動き回り遊ぶようになると“子どもを遊ばせる”という目的ができ、行く場所が増えるが、ほぼ寝てばかりの時期の赤ちゃんと保護者が日常的に集う場所は少ない。</p> <p>結果、赤ちゃんがハイハイを始める約7～8か月までの期間に、子育てが苦痛とを感じる方も少なくない。そのため、当団体の目的は、赤ちゃんと保護者を中心とした子育てひろば事業を行うことである。</p> <p>昨年度は、メンバー集めも同時に行った結果、新しく6名増え、東京都子育て支援員の講習に今年度3名受講予定。個人のスキルアップも着々と進めつつ、今年度は開催回数を増やし、団体としてのスキルも上げていく。</p> <p>この事業は、今年度、毎月1回程度定期的に関き、将来的に「地域子育て支援拠点の一般型」として週3日以上定期開催し、赤ちゃんと保護者の居場所を作ることを目的としている。</p>
3 事業の内容	
① 実施場所	ギャラリーまつ (狛江ハイタウン下、東野川3丁目16)
② 対象者	0歳～未就学児までの子と保護者
③ 告知方法	<p>チラシ400枚/1回×8回分=3200枚印刷予定。市の後援を頂き、市の掲示板へ掲示。</p> <p>公民館・児童館・あいとびあセンター・地域センターなどに、手に取れるようチラシを置く。小田急OX, いなげや、ユニディなどのお店にもポスターとして貼らせて頂く。</p>
④ 具体的内容/事業実施体制	<p>10時～15時で開催。キッチンや電子レンジも使用可能なため、赤ちゃんと一緒にのんびりと過ごし、昼食も取れるよう、ローテーブルや長座布団などを用意する。授乳ケープを用意しつつ、奥の部屋を授乳室として用意し、様々な利用者のタイプに合わせて対応できるようにする。また、0歳～5歳くらいまでの子が使える玩具を用意する。</p> <p>10月31日の開催のみ、『スプーンで行う小児針治療講座』のイベントと絡めて広報する。</p> <p>講座内容：保護者が自宅でするスプーンやママの手を使う“手当て”などの方法を教えて頂き、夜泣きやアトピー改善の手助けとなるような質疑応答にも対応して頂く。</p> <p>時間：10時半～11時半 (11時半以降は通常通りの赤ちゃんの輪として開催)</p> <p>講師：市内の鍼灸院『はり きゅう SalonAnif』鍼灸師 横山博恵さん</p> <p>参加費：無料 (完全申し込み制・10組まで)</p> <p>《実施体制》・スタッフは常時2名以上 (うち一人は当団体の代表で、世田谷ひろば事業のスタッフをしている花岡。もう一人は子育て経験のあるママスタッフ)</p>

事業計画書(1-2)

4	<p>事業実施スケジュール 月末の木曜に定期的実施する。</p> <p>実施予定日時：6月27日(木)、7月25日(木)、9月26日(木)、10月31日(木)、11月28日(木)、1月30日(木)、2月27日(木)、3月26日(木)の計8回実施。10時～15時。</p>
5	<p>事業の自己PR</p>
1	<p>先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。</p> <p>子育てがスタートしたばかりの2ヶ月～7か月頃までの間の保護者の居場所を作り、不安と孤独を解消することは、出生率を上げることにもつながる。また、子育てが辛くなり職場復帰を急ぐ人が減り、待機児童解消を助けることにも繋がる。そして、保護者自身が幸せだと感じ笑顔で子育てできる環境は、よりよい未来にするために大事な事業になる。</p>
2	<p>市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。</p> <p>他市区町村では、『子育て支援拠点事業(通称：ひろば事業)』をいくつかの民間の団体が受託し、様々な雰囲気運営されている。そのため、多様な価値観に対応し、保護者が自分に合った場所を選ぶことができ、産後のママの居場所となり支援している。小規模の民間が作れるアットホームな『ひろば事業』で赤ちゃんと保護者の居場所づくりを中心に事業を行うことは、狛江で多様な価値観に対応でき、これまで行き届かなかった支援ができる。</p>
3	<p>事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。</p> <p>チラシ印刷費はプリントパックに依頼し、低価格で作成。ローテーブルや長座布団に掛けるバスタオルなど、足りないものは、スタッフの自宅から持ち出し利用する。</p>
4	<p>事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。</p> <p>0歳の赤ちゃんと保護者は、ベビーカーで徒歩の場合が多く、自転車移動はしない方がほとんどである。さらに授乳を頻繁に行う2～5ヶ月頃にバス移動を行うのも大変なことである。しかし、現状の赤ちゃんと保護者対象の場所は限られており、住まいが離れている場合、利用できない方も少なくない。故に、市内の中心から外れた地域で開催を行うことは、効果が期待できると予想する。</p>
5	<p>事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。</p> <p>厚生労働省の『地域子育て支援拠点事業』の一般型(子育ての知識と経験のあるスタッフ2名の配置・週3日以上開設などの条件)として行うことで、国と東京都から各自治体へ補助金がでる。実績を作り、行政から信頼を得ることで、国や都の補助金と自治体(費用の3分の1のみ)により定期で事業が可能になる。</p>

平成31年度狛江市市民公益活動事業補助金

＜申請事業収支予算書＞

事業の収支予算書と
団体の収支予算書は
同一

団体名	子育ての輪
事業名	赤ちゃん広場 ～あかちゃんのわ～

＜収入の部＞

項目	金額	内容
市民公益活動事業補助金	50,000 円	チャレンジ補助金 /
子育ての輪から 寄附	590 円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	50,590 / 円	

＜支出の部＞

項目	金額	内容
講師料	7,000 / 円	
広報費	11,200 / 円	チラシ印刷代 (1回400枚1400円×8回) /
保険料	4,930 / 円	30円×20人=600/1日×8回+手数料 ₁₃₀
施設使用料	8,000 / 円	1000円/1回×8回 /
物品購入費	17,560 / 円	長座布団本体1300円×2枚・カバー2枚 1000円×2枚・コンパクト長座布団1200 円×2・授乳クッション(5400円)・お むつ替えシート(1800円)・授乳ケープ (2160円)・看板用ボード(300円)・雨 天ベビーカー用ブルーシート(900円)
消耗品費	1,900 / 円	嘔吐対応用除菌用品(ノロキラー600円・ 除菌スプレー450円・ゴム手袋100円・大 判ビニール袋100円)・狛江市ゴミ袋200 円・除菌ハンドスプレー450円など
	円	
	円	
合計	50,590 / 円	

comecolor

令和元年5月7日

狛江市長 _____ 様

団体名 comecolor

代表者名 篠塚雄一郎

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（平成31年度）

事業名称	狛江駅前広場でのマルシェ開催プロジェクト				
実施時期（予定）	令和元年11月予定				
交付要望額	2	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	狛江のシンボルとなるような可能性を持つ「狛江駅前マルシェ」を開催。下記の内容を組み合わせることで、狛江市民には新たな魅力を感じてもらい、狛江市外へもPRし、狛江市の魅力を訴求し、シティセールスの一助となることを目的とします。 (1) 狛江市内の様々な事業者出店や農産物の販売 (2) 住民交流友好都市の小菅村の特産物販売 (3) 狛江市以外の特色のあるコンテンツ				

申込団体概要

団体名	Comaecolor				
代表者名	篠塚雄一郎				
所在地 （事務所等）	住所	[Redacted]			
	電話				
	FAX				
連絡担当者	氏名	[Redacted]			
	住所				
	e-Mail				
会員数	10 人（うち市内 8 人）	会費等	無（有）（年額・月額）	10,000 円	
主な活動地域	狛江市内	直近事業年度決算額 （支出総額） 30 年度	4,195,899 円		
主な活動実績	◎多摩川リバーサイドフェスティバル「TAMARIBA」（2016年～） ◎珈琲参道（2017年～） ◎狛江タウンガイド「DAYS」発刊（2018年）				

事業計画書

事業名称：狛江駅前広場マルシェ開催プロジェクト

●事業内容：

狛江駅前広場(メビウス広場)の有効活用を目的として、狛江市民はもちろん、狛江市外地域の方々にも興味を持って足を運んで頂ける「狛江駅前マルシェ」を開催します。下記の内容を組み合わせていくことで、狛江市民には新たな魅力を感じてもらうほか、狛江市外へも PR し狛江市の魅力を訴求しシティセールスの一助となることを目的とします。このプロジェクトの成果如何で継続的なプロジェクトへ発展させていきます。

- (1) 狛江市内の様々な事業者出店や農産物の販売
- (2) 住民交流友好都市の小菅村の特産物販売
- (3) 狛江市以外の特色のあるコンテンツ

●開催場所：狛江駅前広場(メビウス広場)

●来場者見込み：3,000 人(狛江市内:2,000 人/狛江市外：1,000 人)

●開催時期：2019 年 11 月予定(2 日間)

●告知方法：

comaecolor 各種発信媒体

TAMARIBA 来場者への告知(2019 年見込み 15,000 人)

●事業の自己 PR

1. 事業の先駆性&将来性

comaecolor で 2016 年から開催している多摩川リバーサイドフェスティバル「TAMARIBA」は昨年の来場者が 12,000 人を突破、2 回目を迎える泉龍寺の「珈琲参道」も今年は先行チケットが完売するなど、新しい狛江の魅力作りに寄与していますが、このような大規模なイベントは定期的な開催は難しいのが現状です。そこで駅前広場を有効活用したコンパクトなイベントは定期的な開催も現実的であり、新しい狛江の魅力あるコンテンツとして十分に運営できると考えています。

2.市民ニーズと市外へのPR 両面を持つ事業

comaecolor が手がけるイベントは、狛江市の持つ魅力ある空間を最大限生かすことを目的としています。イベントに訪れる方の約半数が狛江以外からの来場者で、狛江の魅力を大いに感じて頂きました。その方々の中には狛江に転居してきた方々もいらっしゃいます。また狛江市内の若いファミリー層には、身近な空間で「他に地域にない鮮度の高い体験」ができるということで好評を得ています。本プロジェクトは、市内に住む人も、そうでない人も狛江の新たな魅力のひとつとして発展させていきたいと考えています。

3.市民と一緒につくるマルシェ

マルシェで使用するデザイン性に富んだブースは、事前にワークショップを開催するなど市民の皆さんと DIY 的に製作していきます。名付けて「狛江ヤタイ」。このような関わり方が増えることで、自主的に駅前広場の有効活用ができるアイデアが広がっていくことを願っています。なお材料は住民交流友好都市の小菅村を中心とした材料を使用する予定です。



comaecolor 主催「珈琲参道」は都内で活動している団体からレンタルして使用

4.事業計画の実現性

これまで手がけてきたノウハウに基づき、事業リスクなどを考量した運営をしてまいります。

【任意様式】

平成31年度狛江市市民公益活動事業補助金

＜申請事業収支予算書＞

団体名	comaecolor
事業名	狛江駅前広場マルシェ開催プロジェクト

＜収入の部＞

項目	金額	内容
市民公益活動事業補助金	200,000 円	
一般出店料	100,000 円	5,000円×10店(2日間)
フード出店料	150,000 円	売上の10%を主催者側で徴収
	円	
	円	
	円	
合計	450,000 円	

＜支出の部＞

項目	金額	内容
マルシェブース製作材料費用	300,000 円	材料費 30,000/1台(10台)
PA (音響機材一式) レンタル	50,000 円	
音楽出演者出演料	50,000 円	10,000円 × 5組
イベントトークゲスト謝礼	20,000 円	10,000円 × 2組
印刷費	20,000 円	ポスター&フライヤー製作
事業保険	10,000 円	イベント保険
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	450,000 円	

comaeolor2019 収支予算計画書

収入項目	収入			備考	支出項目	支出			備考
	単価	個数	合計			単価	個数	合計	
①珈琲参道									
前売りチケット(電子)	1,800	700	1,260,000		出店ブース関連経費				
当日チケット(フィジカル)	800	700	560,000		(1)ヤタイ				
珈琲テナント出店料	10,000	7	70,000		ヤタイレンタル	2,000	14	28,000	
珈琲以外テナント出店料	10,000	5	50,000		ヤタイレンタル立会い	10,000	1	10,000	
コマカラ物販			20,000		レンタルカー	30,000	1	30,000	
					(2)贈品関連				
					商品購入一式	30,000	1	30,000	
					(3)チケット&チケット付関連				
					チケット印刷代	50,000	1	50,000	
					リストバンド	2,100	4	8,400	
					電子チケット決済料金	65	700	45,500	
					特典お菓子	80	700	56,000	
					ミニマップ	350	700	245,000	
					(4)告知関連				
					フライヤー	7,000	1	7,000	
					ポスター	15,000	1	15,000	
					(5)レンタル関連				
					アクティオーズ(燃料込み)	30,000	1	30,000	
					キッチンカー	70,000	1	70,000	
					PA機材	70,000	1	70,000	
					(6)その他				
					アーティスト出演料	80,000	1	80,000	
					イベント保険	25,000	1	25,000	
					泉屋寺お布施(会場使用料)	50,000	1	50,000	
					コーヒーチケット払い戻し			0	
					7店舗	300	2000	600,000	
珈琲参道収入計			1,960,000		珈琲参道支出計			1,769,900	

収入項目	収入			備考	支出項目	支出			備考
	単価	個数	合計			単価	個数	合計	
②TAMARIBA									
入場者ドネーション	400,000	1	400,000		会場制作				
地元協賛	200,000	1	200,000		ステージ&ゲート			300,000	
ナショナル企業協賛	250,000	1	250,000		フェニチヤレンタル			50,000	
キッチンカーテナント料(1日目)	150,000	1	150,000		ダスキンレンタル			130,000	
キッチンカーテナント料(2日目)	150,000	1	150,000		アクティオレンタル			450,000	
テント飲食テナント料(1日目)	250,000	1	250,000		PAレンタル			120,000	
テント飲食テナント料(2日目)	250,000	1	250,000		本部商品買い出し			100,000	
テントテナント料(1日目)	70,000	1	70,000		し尿処理費			45,000	
テントテナント料(2日目)	70,000	1	70,000		関連費用				
タマリバグッズ売上	300,000	1	300,000		保険 損害保険代理店			75,000	
タマリバ物販	150,000	1	150,000		トートバッグ制作費			40,000	
スモア	50,000	1	50,000		Tシャツ制作			180,000	
					ポスター/フライヤー印刷費			100,000	
					別荘費用			15,000	
					グッズデザイン費			50,000	
					ミュージシャン出演料			200,000	
					映画放映権			50,000	
					準備費用			500,000	
TAMARIBA収入計			2,440,000		TAMARIBA支出計			2,405,000	

収入項目				備考	支出項目				備考
	単価	個数	合計			単価	個数	合計	
③その他									
TMARIBA年会費	10,000	10	100,000		駅前マルシェプロジェクト	450,000	1	450,000	
駅前マルシェプロジェクト	450,000	1	450,000						
その他収入計			550,000		その他支出計			450,000	

①+②+③総計	収入		4,950,000	/	支出		4,624,900	/
					繰越金		325,100	/

繰越金の使用用途

- 天候リスクなどによるイベント中止時の支出補填費用として運用
- イベント運営事前前払金として運用

comaeolor2018 収支(確定版)

収入項目	収入			備考	支出項目	支出			備考
	単価	個数	合計			単価	個数	合計	
①珈琲参道									
前売りチケット(電子)	1,800	387	696,600		出店者ブース関連経費				
前売りチケット(紙)	1,800	142	255,600		(1)ヤタイ				
当日チケット①	800	912	729,600		ヤタイレンタル	2,000	11	22,000	
当日チケット②	2,000	35	70,000		ヤタイレンタル立会い	10,000	1	10,000	
珈琲テナント出店料	10,000	6	60,000		Tax	2,560	1	2,560	
珈琲以外テナント出店料	10,000	5	50,000		ヤタイレンタルカー 5/5	11,772	1	11,772	
協賛			0		ヤタイレンタルカー 5/6	11,232	1	11,232	
物販Tシャツ	1,000	19	19,000		運搬時コープレンタル 5/5	648	1	648	
物販マグカップ	500	21	10,500		運搬時コープレンタル 5/6	324	1	324	
comaeolor 販売スモア	200	24	4,800		運搬時ガソリン	220	1	220	
comaeolor 販売ラムネ	300	34	10,200		拍江一千歳船橋	154	2	308	
comaeolor 販売マッシュマロ	100	17	1,700		拍江一池袋	401	2	802	
					Tax と調整額	216	1	216	
					(2)水・飲食関連			169,255	
					水質検査	6,000	1	6,000	
					自然水配布用ポリタンク	1,000	0	0	
					水道浄水カートリッジ	592	1	592	
					紙コップ	258	9	2,323	
					紙コップ送料	540	1	540	
					天然水バリスタ手配	80,000	1	80,000	
					キッチンカー	79,800	1	79,800	
					(3)チケット&グッズ関連				
					チケット	2,260	2	4,520	
					Webサイト広告除外費用	1,200	2	2,400	
					フライヤー	5,900	1	5,900	
					ポスター	14,200	1	14,200	
					コーヒーチケット(シール)	10,780	1	10,780	
					天然水コーヒーチケット(シール)	5,590	1	5,590	
					リストバンド	2,100	2	4,200	
					電子チケット決済料金	65	300	19,500	
					お菓子	80	600	48,000	
					ミニマグ	297	600	178,200	
					スケッチブック	397	1	397	
					梱包ラップ	192	2	384	
					ナットパーツ	1,598	1	1,598	
					ネームプレート		10	2,138	
					追加リストバンド	2,180	1	2,180	
					紙コップ追加	2,745	1	2,745	
					紙コップ追加	765	1	765	
					シュロ縄追加	862	1	862	
					電源・PA関連				
					アクティオー式(燃料込み)	76,507	1	76,507	
					装飾・備品				
					ブース用テーブル	1,080	25	27,000	
					ブース用いす	324	5	1,620	
					配送費		1	0	
					灯電用LEDランプ	1,399	2	2,798	
					マイクスタンド	4,212	1	4,212	
					丸椅子	216	35	7,560	
					シュロナフ	723	1	723	
					オーガンジー	9,998	1	9,998	
					丸テーブル	2,160	0	0	
					ブラ棚	1,620	3	4,860	
					マイク(購入)	1,814	2	3,628	
					ミキサー(購入)	8,402	1	8,402	
					オーガンジー追加	5,430	1	5,430	
					床炭	1,057	1	1,057	

収入項目				備考	支出項目				備考
	単価	個数	合計			単価	個数	合計	
②TAMARIBA									
入場者ドネーション(1日目)			303,000		会場制作				
入場者ドネーション(2日目)			194,000		ステージ&ゲート			300,000	
クラウドファンディング	3,000	7	21,000		ファニチャレンタル			50,000	
	5,000	20	100,000		ダスキンレンタル			129,060	
	7,000	1	7,000		アクティオレンタル			477,748	
地元協賛	295,000	1	295,000		PAレンタル			115,000	
ナショナル企業協賛	250,000	1	250,000		本部備品買い出し			98,115	
キッチンカーテナント料(1日目)	171,000	1	171,000		し尿処理費			43,200	
キッチンカーテナント料(2日目)	153,000	1	153,000		関連費用				
デント飲食テナント料(1日目)	258,050	1	258,050		保険 損害保険代理店			73,510	
デント飲食テナント料(2日目)	257,280	1	257,280		トートバッグ制作費			37,000	
デントテナント料(1日目)	84,000	1	84,000		Tシャツ制作	187,380	1	187,380	
デントテナント料(2日目)	67,000	1	67,000		ポスター/フライヤー印刷費			100,000	
タマリバグリル売上			300,000		クラウドファンディング経費			17,920	128000円の14%
その他収入	5,000	1	5,000		謝礼				
スモア売上	55,400	1	55,400		タマリバトーク謝礼			15,000	
打ち上げメンバー会費	3,000	7	21,000		グッズデザイン費謝礼			48,895	
タマリバストア物販	240,300	1	240,300		ミュージシャン出演料			156,000	
			0		映画放映権			48,600	
			0		個人精算			499,515	
Tシャツ販売			0		スモア仕入れ				
トートバッグ販売			0		設営雑費				
ステッカー販売			0		しゃぼん玉				
DAYS販売			0		会議室、コピー代				
コマカラ予費			0		打ち上げ(Pitatti)	4,320	30	129,600	
					打ち上げ(2次会)	47,160	1	47,160	
TAMARIBA収入計			2,782,030		TAMARIBA支出計			2,573,703	
③その他									
TAMARIBA年会費	10,000	10	100,000						
①+②+③総計	収入		4,790,030			支出		4,195,899	
						繰越金		594,131	

狛江 CSAIe 実行委員会

令和元年 5月 17日

狛江市長 様

団体名 狛江 CSA1e 実行委員会

代表者名 高野 充吉

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（3 / 年度）

事業名称	狛江 CSA1e					
実施時期（予定）	2019年7月より 2019年10月ごろまで					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	狛江市民の育ててもらったホップを使ってビールを作る取り組み。 市民参加型の新しい都市農業。 ホップを育成することでコミュニティを造成し、出来上がったビールで市内の飲食振興を。 またグリーンカーテンによる温暖化の抑制効果も。					

申込団体概要

団体名	狛江 CSA1e 実行委員会					
代表者名	高野 充吉					
所在地 （事務所等）	住所	[Redacted]				
	電話					
	FAX					
連絡担当者	氏名	[Redacted]				
	住所					
	e-Mail					
会員数	3 人（うち市内 3 人）	会費等	無・有（年額・月額）	10000 円		
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 （支出総額）30 年度	413000 円		

主な活動実績	2017年、狛江市内で育ったホップを使いビールを作成。 1307本完売	受付印 受付 1.5.15 狛江市市民生活部 地域活性課
	2018年、同じくビールを作成 1307本完売	



事業計画書(1-1)

1 事業名称	狛江CSA1e
<p>2 事業の目的(事業を実施する前提となった問題点, 社会背景, 期待される効果等を交え, 具体的に記入してください。)</p> <p>都市型農業の新しいカタチを模索し、狛江市のコンパクトさを活かした市民参加型農業が適していると考えた。</p> <p>昨今の夏の暑さは尋常ではなく、市民ベースでの二酸化炭素の軽減、グリーンカーテンによる温暖化への効果も見られる。</p> <p>またホップ栽培者同士がSNSなどで交流を図り、「ビールを作る」というわかりやすく、達成感のある目標に向かって相互協力する姿が見られ、コミュニティの造成にも効果が期待できる。</p> <p>ゆくゆくは多くの狛江市民が参加し、狛江の特産品として確立していきたい。</p>	
3 事業の内容	
<p>① 実施場所</p> <p>狛江市内</p>	
<p>② 対象者</p> <p>狛江市民</p>	
<p>③ 告知方法</p> <p>フェイスブックなどのSNS</p> <p>チラシ</p>	
<p>④ 具体的内容/事業実施体制</p> <p>活動は</p> <p>①ホップを市民に配布</p> <p>②ホップを市民に無農薬で育ててもらおう</p> <p>③実った毬花を回収</p> <p>④狛江市内の二箇所の醸造場でビールを作成</p> <p>⑤瓶詰めや樽に詰めたビールを狛江市内で販売に分かれる。</p> <p>①に関しては2018年まではネットなどで購入していたが、費用が高く、数が増やせないので2019年は近隣の協力農家からホップを株分けさせてもらい、市民に配布する予定。</p> <p>②に関しては栽培指南書、土壌改良用の肥料や石灰などを無料で配布。</p>	

各家庭で地植えやプランターなどで育ててもらおう。

③に関しては現在検討中ではあるが、ホップ栽培者が自分で収穫後、醸造場に持ち込むようにする。

④に関しては籠屋ブリュワリー、イズミブリュワリーの二箇所での協力要請済み。

⑤の商品流通に関しては検討中である。

そのほか、印刷物関連でデザイナーに発注。

具体的にはチラシやポスター、栽培指南書、ビールのラベルなどを依頼

事業計画書(1-2)

4	<p>事業実施スケジュール</p> <p>3月＝ホップの株分け</p> <p>4月＝ホップの配布</p> <p>5～7月＝ホップ育成</p> <p>8、9月＝毬花の回収</p> <p>10月＝醸造、販売</p>
5	<p>事業の自己PR</p> <p>(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。)</p>
1	<p>先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。</p> <p>市民が参加する都市型農業は都内にも多くはなく、「銀座のはちみつ」のように地域振興に効果が期待できる。</p> <p>他の市区町村でも取り組んでいるところはなく、近年のクラフトビールブームもあり、将来性はあると思われる。</p>
2	<p>市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。</p> <p>狛江市のコンパクトさを活かした事業であり、農地や緑の多い狛江ならではの取り組みと言える。世田谷や杉並などでは区民が多すぎて取り組みは難しい。</p> <p>また狛江市民は緑を愛する傾向があり、ゴーヤなどではなく独自のグリーンカーテンが作れることも魅力。</p>
3	<p>事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。</p> <p>2年間完売した実績により、ある程度の予算の実効性は掴めてきた。</p> <p>現状は個人協賛や企業協賛、会費により運営している状態だが、今後は販売したビールの利益の一部を繰り越し翌年の印刷代などに充当して予定。</p>
4	<p>事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。</p> <p>昨年までのホップ購入だと株も増やせずに広がり小さく感じたが、今後は既存の栽培者のホップを株分けしていくことでさらに参加者を増やし、より緑を増やしていきたい。</p> <p>年々成長していける事業である。</p>
5	<p>事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。</p> <p>栽培者を増やし、狛江ならではのビールが市民により広がっていけば、ビールの販売収益も上がり、自立自走していける事業になると考える。</p>

	2017年、狛江市内で育ったホップを使いビールを作成。 1307本完売 2018年、同じくビールを作成 1307本完売	
--	--	--

【任意様式】

平成 31年度狛江市市民公益活動事業補助金

＜申請事業収支予算書＞

申請事業の予算書
団体の予算書は同一

団体名	狛江CSAI e実行委員会
事業名	狛江CSAIe

＜収入の部＞

項目	金額	内容
市民公益活動事業補助金	200,000 円	
個人協賛	50,000 円	
企業協賛	50,000 円	(株) 32、ロイヤルインダストリーズ他
会費	30,000 円	3人
緑化活動資金	32,675 円	ビールの販売利益5% 1本25円、1307本計算
合計	362,675 円	

＜支出の部＞

項目	金額	内容
デザイン費謝礼	100,000 円	
車両関係費	82,000 円	
印刷代	113,000 円	
消耗品	20,000 円	
株分け等活動人件費	25,000 円	(対象外)
次年度繰り越し	22,675 円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	362,675 円	

ホップとは

ビールの主原料のひとつとして使用されます。毬花(きゅうか)という独特の実を結実させ、ビールの原料として苦味、香り、泡に重要であり、また雑菌の繁殖を抑え、ビールの保存性を高める働きがあります。

ツルが6mにもなるのでグリーンカーテンにも最適です。また宿根草なので、一度植えれば毎年グリーンカーテンを作る事が出来ます。採れたての毬花はグレープフルーツの様なとてもフレッシュな香りがあります。市販されているビールに入れて、香りや苦味をアップさせ、ビールをより楽しむ事も出来ます。



スケジュール

4月～6月

苗植え、ツルが伸びる

8～11月

何度も実を収穫可能

ホップは北海道でも屋外で越冬する強健な宿根草です。毎年根が充実することと、出てくる枝が増えていき、枝葉も大きく伸びるようになり、毬花を多く結実するようになります。また植えつけたら数十年は毬花を収穫できると言われており、丈夫な植物です。

栽培手順

1. 苗植えをする。梅雨前までにたっぷり水をあげてください。
2. フェンスや支柱に伸びるツルを誘引する。誘引は時計回りで。
3. 鞠花を摘み取る。

※ホップは西日を嫌う傾向にあるようです。

育てるポイント

どんな土がいい？

ホップは風通しと水はけのよい場所が適しています(地植えの場合は付属の炭酸カルシウムを一握り株元に撒いて下さい)。アルカリ性の土を好みます。畝(うね)を立てるか、植え穴を高い位置で掘っておき、水はけがよくなる状態を作ってから苗を植えます。最後に水やりをして完成です。

水やりのタイミングは？

乾燥していれば水を与えましょう。地植えは、苗を植えたときの水やりだけで十分で、あとは雨だけでも生長してくれます。

肥料のタイミングは？

苗を植えた年は、生長が活発になる6月に追加で肥料を与えます。化成肥料なら1回、液体肥料なら1ヶ月に2～3回ほど与えてください(付属の肥料を一握り株元に撒いて下さい)。

手入れや支柱たては？

ホップの苗を植えたら、ツルが伸びやすいように株のそばへ支柱を立てます。フェンスやネットを張っても構いません。最初は、伸びたツルを麻紐などでゆるく支柱やフェンスに結びつけるとキレイに誘引できます。

ホップの剪定! 摘芯の時期と方法は？

ホップはたくさんツルを一気に伸ばしてしまうと株の栄養が足りなくなってしまうので、育が悪くなります。たくさん伸びてきたら、丈夫そうなものを5～6本残して他を付け根から摘み取っていきましょう。ツルの本数を絞ることで、残ったツルは太く勢いのあるものになります。

収穫時期は？

8～11月です。多少茶色になっても収穫可能です!



KOMAE COMMUNITY SUPPORTED ALE

シエスエール 狛江 CSAle とは

狛江市民が育てたホップで狛江のローカルビールを作るプロジェクトです。
またホップでグリーンカーテンをつくり都市緑化、温暖化など環境問題にも配慮します。

<生産工程>



ホップの回収方法について

ホップは苗や栽培環境により、穂花の
美りにバラツキがあります。ご家庭の
ホップがある程度量実ったら、右記の
醸造所にご自身でお持ち込み下さい。
受付の切り度まで何度でも回収可能です。
収穫から持ち込みまで日数が空く場合、
ご家庭の冷凍庫で保存して下さい。

受付の切：9月上旬

和泉ブルワリー

住所：東京都狛江市和泉本町1-12-11 F
電話：03-5761-7130
営業時間：水曜 16:00~21:00
 金曜 16:00~22:00
 土・日曜 12:00~21:00
定休日：月・火・木曜

籠屋ブルワリー

住所：東京都狛江市駒井町3-34-3
電話：03-3480-8931
営業時間：9:00 ~ 20:00(日曜・祭日 10:00 ~ 20:00)
定休日：月曜

狛江 CSAle 公式アカウント

Facebook & Instagram

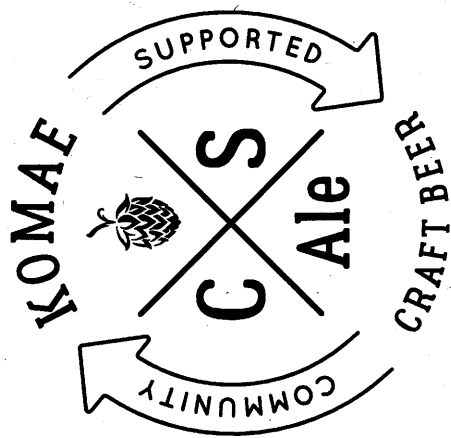


@komaecsale

ハッシュタグをつけて、
みんなにシェアしよう!
#狛江csale

follow me!

Facebookのグループページでは、市内の栽培者の方々との交流もできます。
みなさんで情報交換をしながらホップ栽培を楽しみましょう!



ホップの育て方

狛江CSAle2017 解禁

狛江産、採れたてホップ使用

10/8
12時~

COMMUNITY

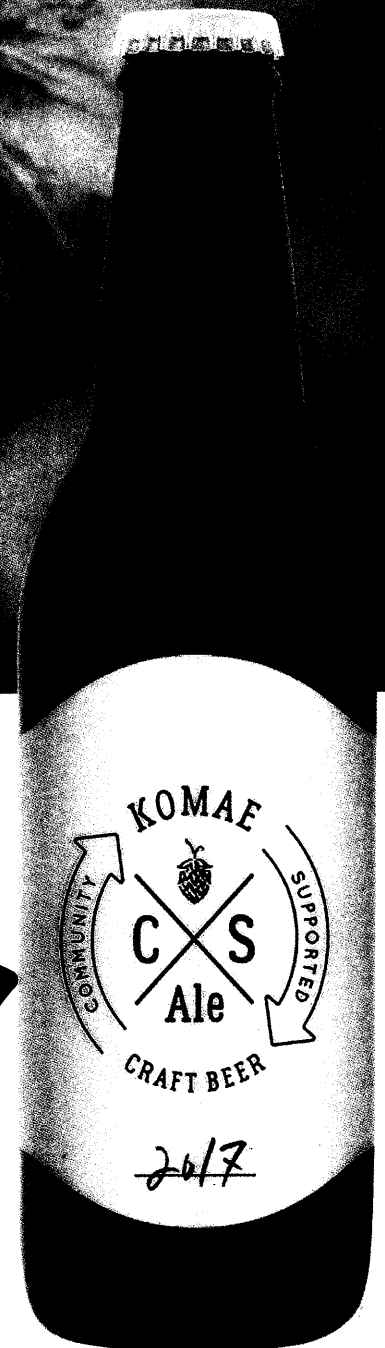
SUPP RTED

ALE

made with hops collected
at the home garden of Komae City

¥800!!

「狛江CSAle」は、狛江市内で育てたホップで
地元のローカルビールを作るプロジェクトです



狛江視覚障害者の会

令和1年5月 7 日

狛江市長 松原 俊雄 様

団体名 狛江視覚障害者の会

代表者名 伊藤 聡子

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（2019年度）

事業名称	ハンディちゃれんじクラブ					
実施時期（予定）	2019年6月1日から2020年2月28日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	<p>障がい者が持つ様々な障害を体験し理解を深めることにより、全ての人が支え合い、共に暮らせる社会の実現を目指します。</p> <p>① 2017年スタートした「この街で障がい者と共に暮らすために！」プロジェクト3か年計画の集大成として取り組みます。</p> <p>② 市民公益活動事業補助金のご支援を受けて、2年間の活動で培った事業ノウハウを活かし、今後の安定的な開催と自立できる運営体制を確立します。</p>					

申込団体概要

団体名	狛江視覚障害者の会					
代表者名	伊藤 聡子					
所在地 （事務所等）	住所	[Redacted]				
	電話					
	FAX					
連絡担当者	氏名	[Redacted]				
	住所					
	e-Mail					
会員数	17 人（うち市内16人）	会費等	有（年額）	1,000 円		
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 （支出総額）2018年度	93,457 円		
	<p>① 2017年度「暗闇レストランへようこそ！」 2018年度「ハンディちゃれんじクラブ」の開催</p> <p>② 視覚障がい者間の親睦会の開催</p> <p>③ オレンジエコー、オレンジボール、おしゃべりサロンの定期的な開催</p> <p>④ 狛江視覚障害者の会主催「福祉講座」の開催</p>				<p>受付印</p> <p>受付</p> <p>- 1.5. 7</p> <p>狛江市市民生活部 地域活性課</p>	

【任意様式】

令和元年度狛江市市民公益活動事業補助金

＜申請事業収支予算書＞

団体名	狛江視覚障害者の会
事業名	2019ハンディチャレンジクラブ

＜収入の部＞

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
市民公益活動事業補助金	200,000 円	
学校開催経費	12,804 円	
狛江視覚障がい者の会より繰入	9,457 円	
	円	
	円	
合 計	222,261 円	

＜支出の部＞

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
会場費	7,800 円	中央公民館ホール、調理実習室、その他
出演者謝礼	30,000 円	1人×¥10,000 1団体×¥20,000
ケータリング費	57,600 円	¥1,200×48人
保険料	4,838 円	118人×@¥41
チラシ製作費	45,000 円	チラシ2種類 合計24000枚
運賃通信費	19,968 円	郵便料金、宅配料金
スタッフ謝礼（構成員を除く）	30,000 円	お弁当¥600×50人
事務用品・消耗品費	15,000 円	事務用品、「災害の心得」冊子など
車両レンタル費	12,055 円	軽トラックレンタカー
	円	
	円	
合 計	222,261 円	

〈「2019ハンディチャレンジクラブ」事業収支予算書〉

狛江視覚障害者の会

事務局 宇多川清治

〈収入の部〉

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
市民公益活動事業補助金	200,000 円	
障がい者理解の集い必要経費学校負担	12,804 円	
狛江視覚障害者の会会計より繰り入れ	9,457 円	
	円	
	円	
収 入 合 計	222,261 円	

〈支出の部〉

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
【暗闇レストランへようこそ!】		
会場費	7,800 円	中央公民館ホール、調理実習室、小会議室
出演者謝礼	30,000 円	語り部 1個人×¥10,000 弦楽3重奏 1団体×¥20,000
ケータリング発注費	57,600 円	¥1,200×48人
事業保険料	3,198 円	参加者48人+スタッフ30人×@41円
印刷代(20,000枚)	30,000 円	デザイン：印刷：¥30,000
消耗品費	7,000 円	事務用文具 会場装飾
運賃通信費	2,000 円	郵便料金
スタッフ謝礼(主催者構成員除く)	18,000 円	お弁当¥600×30人
小 計	155,598 円	
【ハンディチャレンジクラブ】多摩川乗馬会		
運賃	8,984 円	義足、点字ブロック駆り出し運賃
スタッフ謝礼(主催者構成員除く)	12,000 円	お弁当¥600×20人
チラシ製作費	15,000 円	4000枚
事業保険料	820 円	スタッフ20人×@41円
消耗品費	5,000 円	「災害の心得」配布、事務用品
小 計	41,804 円	
【障がい者理解の集い】		
運賃	8,984 円	義足、点字ブロック駆り出し運賃
事業保険料	820 円	スタッフ20人×@41円
車両レンタル	12,055 円	軽トラックレンタル料
消耗品費	3,000 円	「災害の心得」配布、事務用品
小 計	24,859 円	
支 出 合 計	222,261 円	

平成31年度 狛江視覚障害者の会 予算

狛江視覚障害者の会

事務局 宇多川清治

(単位:円)

収 入		支 出	
前年度繰越金	8,123	上部団体会費	18,000
年会費	17,000	「声の東京」購読料	3,000
上部団体会費	18,000	研修会・大会参加費	26,000
身障協活動費助成	50,000	会員活動費	22,000
都盲協助成金	1,800	事務用品費	10,000
寄付	5,000	通信費	5,000
		ハンディチャレンジクラブ	9,457
収入合計	99,923	支出合計	93,457

次年度繰越金 6,466

3カ年計画締めくくりの年

「ハンデイチやれんじクラブ2019」

2017年6月、全ての人が共に暮らせる社会の実現を目指して「この街で障がい者と共に暮らすために！」プロジェクトを立ち上げ、活動してまいりました。2年間の活動を通して、多くの方々から運営面やプログラム内容についてご指摘やご提案をいただき、その都度修正を行い進めてまいりました。またそれと同じく、多くの方々から温かなご賛同やご支援のお言葉をいただき、このプロジェクトの方向の正しさを実感することができました。2019年度は、3カ年計画の締めくくりの年として、イベント内容の確立、障がい者団体との連携、一般市民へのアピール拡大に取り組んでまいります。それらをベースに、来年2020年度に向け、財政面を含む安定的なイベント実施体制の確立を模索してまいります。

2019年5月7日

粕江視覚障害者の会

会長 伊藤 聡子

事務局 宇多川 清治

「この街で障がい者と共に暮らすために！」プロジェクト3か年計画の歩み

実行内容

①「共生社会の実現」に向けた基本理念を共有しました。

②基本理念を具現化するためのプロジェクトを立ち上げました。

③オープンイベントとして「暗闇レストランへようこそ！」を開催しました。

成果

①お客様には、今までにない新しい体験をしていただき、視覚障がい者に対する興味と関心が広がりました。

②今回の催しを通して、参加いただいたお客様やスタッフに、同じ目標を共有する絆が生まれました。

反省と課題

①一人でも多くの市民の方に「活動の存在」を知っていただくため、行政の支援を求めていく必要が有ります。

②子ども向けの開催を要望される方が多く、イベント内容の研究を行い、来期の実現を図ります。

③視覚障がいに限らず、聴覚障がいや身体障がいや老化など、様々な障がい者の理解に繋がる活動を目指します。

2017年度

実行内容

①「ハンディチャレんじクラブ」(西野川子どもクラブ)を開催しました。

②「ハンディチャレんじクラブ」(泊江ブルーパーク)を開催しました。

③「障がい者週間の期間に合わせて「障がい者フレンドリーフェスタ」を開催しました。

成果

①子どもの自発的な取り組みとして、遊び感覚で障がい体験を体験してもらうことができました。

②志を同じくする多くの団体や個人とのネットワークが生まれ、これからの活動の大きな支えができました。

③「障がい者週間」にイベントを開催する団体と連携してアピールすることで、活動の存在感を示すことができました。

①小学校低学年から高学年と参加者に幅があり、高学年の子どもには難易度が低く、満足しにくい面がありました。

②遊び感覚を大切にすることで、アトラクションと障がい体験を関連付けて意識しにくい部分がありました。

③屋外開催を基本にしているにも関わらず、高温や雨天などの気候変動に対応できていませんでした。

④大人の参加者からも好評だったことから、年齢を分けて対応する必要があるか、再考する必要が有ります。

⑤共同でのイベント告知を進めたが、調整不足から有効な情報伝達が取れませんでした。

2018年度

2019年度重点テーマ

過去2年間の経験と反省を踏まえ、プログラムの内容や運営方法を確立し、将来の安定的なイベント開催の基礎を確立します。

障がい者団体や障がい者支援団体、ボランティアの方々など、個別に行ってきた「障がい者理解」「共生社会の実現」の波を、連携して一つの大きな波に育てます。

障がい者関連の文化祭や展示会やパラスポーツ祭など「障がい者週間」のイベントを、公益法人や市民団体などと連携して、ミニ市民祭りの開催を目指します。

2019「ハンディちやれんじクラブ」活動内容概要

「障がい者週間」多摩川乗馬会と「暗闇レストランへようこそ！」

- ①内閣府提唱の「障がい者週間」(12月3日から9日)に個人や団体が連携して、告知や日程、会場等を調整し、祭りを開催します。
- ②2017年に実施したイベントと同じコンセプトで、要望の多かった子ども向け「暗闇レストランへようこそ！」で参加します。

▶開催日 12月8日(日)要調整

▶開催会場 中央公民館ホール
(又は西河原公民館ホール)

▶参加費 無料

▶主な告知 小学校にて全員にチラシを配布します。

●特記事項

- ①狛江市役所に共催申請を行います
- ②障がい者週間にイベントを開催する団体や、市内の公共団体と実行委員会を立ち上げます。

◆内容

- ①アイマスクをすることで、視覚障がい者の体験にチャレンジします。
- ②暗闇の中で食事をしたり、音楽を聴いたり、語り部からのお話を聞きます。どんな新しい発見気づきがあるでしょう

ハンディちやれんじクラブと多摩川乗馬会

①福祉ネット「ナナの家」が開催する「多摩川乗馬会」は、4月で88回を迎え毎回3000人前後の集客があります。

②考え方を共有でき、新たなお客様との出会いや動員力をお持ちの団体と連携し、「ハンディちやれんじクラブ」を開催します。

▶開催日 10月20日(日)9時から15時

▶開催会場 多摩川河川敷自由ひろば

▶参加費 無料

▶共催 福祉ネット「ナナの家」

▶江視覚障害者の会

●特記事項

- ①多摩川乗馬会の会場にスペースを提供いただき「ハンディちやれんじクラブ」開催します。
- ②共催として「ナナの家」はスペースを、「江視覚障害者の会」が運営を担当します。

◆内容

- ①参加年齢が低いことが予想されるので、対応するプログラムを検討します。
- ②3～4種のアトラクションを用意するとともに、大人向けのアトラクションを1～2種類加えて開催します。

こまえくぼ体験部会との連携「障がい者理解の集い(仮称)」学校開催

①小学校では総合学習の一貫として、障がい者を理解するため授業が行われており、こまえくぼに指導者の派遣要請があります。

②「ハンディちやれんじクラブ」は、予てより学校開催を模索しており、体験部会様と連携して、プログラムを提供します。

▶開催日 開催日未定(不定期)

▶開催会場 狛江市内小学校

▶共催 市内小学校

こまえくぼ1234

江視覚障害者の会

(PTAやおやじの会)

●特記事項

- ①小学校から「こまえくぼ」への協力依頼を受け、総合学習として実施する。
- ②必要に応じて、PTAやおやじの会や母の会などに協力を要請し、すそ野を広げていく。
- ③広報「障がい者理解の集い」のサービスキットを作り、全小学校誘致促進

◆内容

- ①複数のアトラクションから、学校側の意向でプログラムを選べるようにします。
- ②アトラクションで遊んだ後、障がい者との懇談会を行います。
- ③保護者の体験参加も検討します。